



講師

【専門領域】

森本 晃司

健康・スポーツ科学

もりもと こうじ

理学療法学科

研究・実務の業績

1. (著書) 共著 森本晃司 ラグビーのちから 叢文社P143~168 第8章 アスレチックリハビリテーション 平成19年3月 (上野祐一監修)
2. (研究論文) Morimoto K, Sakamoto M, Fukuhara T, et al.: Electromyographic study of neck muscle activity according to head position in rugby tackles. J Phys Ther Sci, 2013, 25: 563-566.
3. 森本晃司, 粕山達也, 桜井進一, 中澤理恵, 坂本雅昭: 高校生ラグビー選手におけるタックル動作時の頭部加速度について. 日本臨床スポーツ医学会誌20(2),292-298,2012

学生へのメッセージ

私の学生時代はスポーツでケガをしてもグラウンドレベルでリハビリを指導してくれる人はおりませんでした。スポーツ現場で活躍される理学療法士は年々増加していますが、まだ十分とは言えない現状があります。

私はラグビーを中心に様々なスポーツ現場に関わってきましたが、現場でスポーツリハビリを指導できる理学療法士の必要性を感じ、仲間を増やしたいと思い教員になりました。私が今まで経験してきたこと、学んできたことを学生に伝えていきたいと考えています。

スポーツに関わる理学療法士になるために一緒に学んでいきましょう！！